

# 新型コロナウイルス 感染症対策記録集

## 発行にあたって

令和元年12月に中国で確認された未知の病気は、瞬く間に世界中に感染爆発を引き起こしました。その後、新型コロナウイルスが原因と判明した感染症は、わが国でも令和5年2月9日までに、合計32,879,625人の感染者、70,185人の死亡者が確認されています。

区民に最も身近な基礎的自治体である目黒区は、増え続ける感染者への対応をはじめ、緊急事態宣言への対応や区民への行動自粛の呼びかけ、区有施設の利用制限、ワクチンの集団接種、行動制限と経済活動の両立など、これまでに経験したことのない事案が次々と沸き上がり、それらの課題に対して、速やかに方針を決定し、対策に取り組むことが求められました。

このような未曾有の危機事象の中で、基礎的自治体の組織の中に保健所を設置しているという特別区の強みを最大限に活かし、オールメグロの体制で、区民の健康と生活を守るために全力で取り組んできました。

また、今回の危機事象を通して、災害に直面したときに平時の連携がいかに大切であるかを再認識する契機となりました。区内の多くの関係者と日ごろから顔の見える関係を地道に作ってきたことが、危機管理において大いに役に立ったと考えています。

いまだ完全に新型コロナウイルス感染症が終息したとは言えませんが、感染症法上の5類に移行されたことを区切りに、これまでの対策について一定の評価を行い、課題を明らかにすることは、今後の危機管理と継続的な行政運営において意義深いものであり、ととらえ、記録集としてまとめました。

令和6年2月

目黒区長 青木 英二

# 目次

---

<b>1</b>	<b>新型コロナウイルス感染症発生からの経過</b> .....	<b>1</b>
(1)	国・都・目黒区の主な動き .....	1
(2)	目黒区の感染状況の推移.....	2
<b>2</b>	<b>目黒区の危機管理体制</b> .....	<b>3</b>
(1)	危機管理体制.....	3
(2)	予算編成の対応 .....	6
(3)	組織体制と職員の働き方の変化 .....	10
<b>3</b>	<b>感染拡大防止等の取り組み</b> .....	<b>12</b>
(1)	感染拡大の防止・医療提供体制の確保等 .....	12
(2)	新型コロナワクチン接種.....	19
(3)	その他の対応.....	23
<b>4</b>	<b>暮らしを守る取り組み</b> .....	<b>24</b>
(1)	区民生活への対応.....	24
(2)	事業者への支援 .....	26
(3)	区有施設(公の施設)の対応 .....	29
(4)	福祉分野の対応 .....	33
(5)	子ども・子育て世帯への対応.....	36
(6)	区立小・中学校の対応.....	40
(7)	その他(広報・寄付金・区議会の対応など) .....	42
<b>5</b>	<b>対応の検証と今後の課題</b> .....	<b>44</b>
(1)	目黒区全般の対応.....	44
(2)	感染拡大防止等に向けた対応 .....	46
(3)	まとめ .....	48



# 1 新型コロナウイルス感染症発生からの経過

## (1) 国・都・目黒区の主な動き

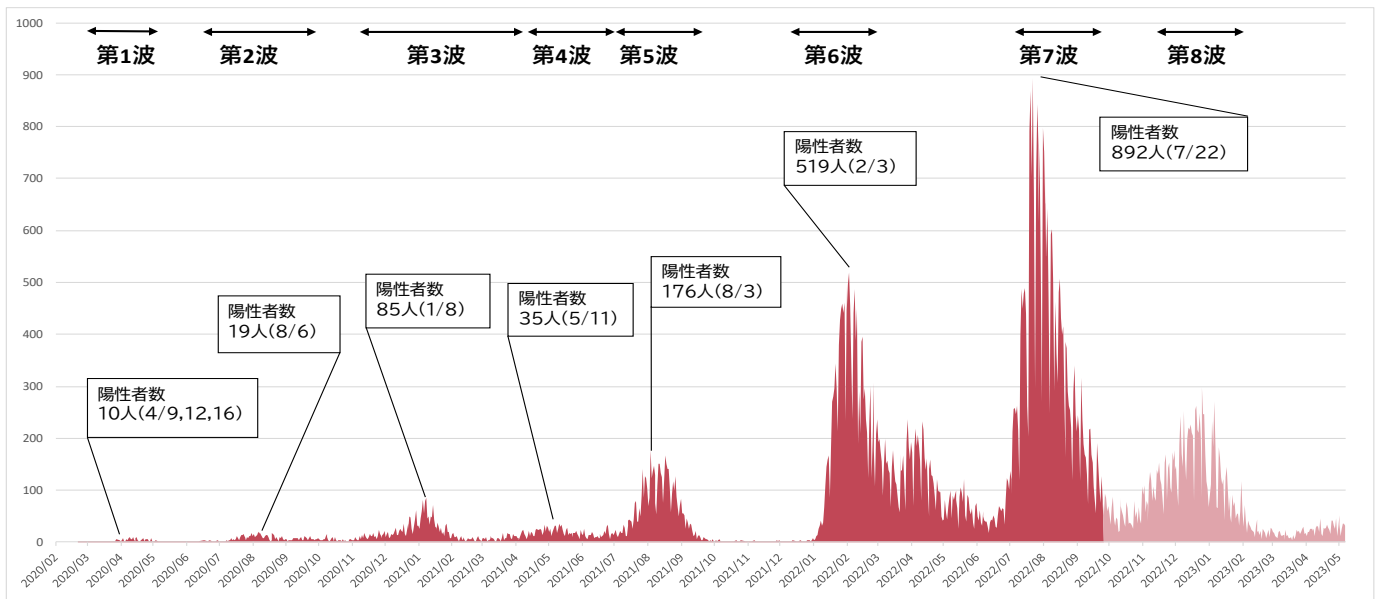
年	月	日	出来事
R1	12		中国武漢市で新型のウイルス感染症を確認
R2	1	15	我が国初の感染者を確認
		24	都内初の感染者を確認
		30	政府は新型コロナウイルス感染症対策本部を設置
			東京都新型コロナウイルス感染症対策本部を設置
		31	目黒区危機管理対策本部を開催(R2.3.2まで10回開催)
	区議会災害等対策会議を設置(R5.5.31現在で86回開催)		
	2	1	国は新型コロナウイルス感染症を指定感染症に指定
		3	クルーズ船ダイヤモンドプリンセス号が横浜港に入港
		21	区内初の患者発生
	3	4	目黒区新型コロナウイルス感染症対策本部を設置
		11	世界保健機関(WHO)がパンデミック(世界的な規模での流行)を宣言
		24	東京オリンピック・パラリンピックの1年延長を決定
	4	5	新型インフルエンザ等対策特別措置法を改正
		7	緊急事態宣言(1回目)
	5	25	緊急事態宣言(1回目)を解除
	6	2	東京都は「東京アラート」を発動
		4	「めぐる・3S・アクション」を発表
R3	1	7	緊急事態宣言(2回目)
	2	13	国は感染症法の法的位置づけを新型インフルエンザ等感染症に変更
	3	21	緊急事態宣言(2回目)を解除
	4	12	東京都にまん延防止等重点措置(1回目)
		24	まん延防止等重点措置(1回目)を解除
		25	緊急事態宣言(3回目)
	6	20	緊急事態宣言(3回目)を解除
		21	東京都にまん延防止等重点措置(2回目)
	7	11	まん延防止等重点措置(2回目)を解除
		12	緊急事態宣言(4回目)
9	30	緊急事態宣言(4回目)を解除	
R4	1	21	東京都にまん延防止等重点措置(3回目)
	2	1	目黒区業務継続計画(新型インフルエンザ等編)を発動
	3	21	まん延防止等重点措置(3回目)を解除
		22	東京都リバウンド警戒期間
	5	22	東京都リバウンド警戒期間の解除
	6	2	目黒区業務継続計画(新型インフルエンザ等編)を解除
R5	5	8	新型コロナウイルス感染症の感染症法の位置づけを5類に変更

※赤字箇所は目黒区の対応、塗りつぶし箇所は行動制限の要請

## (2) 目黒区の感染状況の推移

新規陽性者数の推移												
年	2020 (R2)											
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
国	12	193	1,930	12,089	2,511	1,747	17,373	31,981	15,045	17,529	47,158	86,541
都	3	18	489	3,747	958	994	6,464	8,125	4,918	5,350	9,861	19,369
区	0	2	22	131	14	17	201	305	168	143	297	749
年	2021 (R3)											
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
国	154,700	41,838	42,300	117,482	153,674	52,977	126,687	567,572	208,068	17,385	4,375	5,816
都	40,367	10,997	9,310	18,075	21,871	12,977	44,448	129,193	31,196	1,970	543	945
区	1,162	193	251	525	638	426	1,506	3,419	577	47	32	48
年	2022 (R4)											
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
国	1,082,695	2,106,113	1,475,036	1,249,639	940,734	469,555	3,463,299	6,173,065	2,322,548	1,031,436	2,487,609	4,425,244
都	207,692	394,030	247,810	184,860	100,826	58,999	567,960	759,118	243,973	100,143	257,031	462,612
区	6,192	8,532	4,506	4,034	2,203	1,604	13,857	12,680	4,325	1,566	3,370	5,761
年	2023 (R5)											
月	1	2	3	4	5							
国	3,317,270	668,882	249,850	265,404	81,761							
都	279,887	47,190	23,072	36,575	12,266							
区	3,229	722	455	774	223							

令和4年9月25日以前は、  
発生届が提出され目黒区で対応した件数  
令和4年9月26日以降は、  
目黒区内の医療機関で診断された件数



## 2 目黒区の危機管理体制

### (1) 危機管理体制

全庁的な体制による対応が必要な場合に備えて令和2年1月から目黒区危機管理対策本部を10回開催しました。3月には区における新型コロナウイルス感染症の拡大予防への緊急対応を迅速かつ的確に行うため本部機能を担う目黒区新型コロナウイルス感染症対策本部を設置しました。

#### ● 目黒区危機管理対策本部

##### 危機管理対策本部会議 主な議題一覧

(全10回)

回	開催日	主な議題
1	令和2年1月31日	本区における感染症予防にかかる資器材の備蓄状況について
2	令和2年2月7日	「帰国者・接触者電話相談センター」の設置について
3	令和2年2月14日	本区における感染症予防にかかる資器材の備蓄状況について
4	令和2年2月21日	「帰国者・接触者電話相談センター」の設置について
5	令和2年2月28日	本区における感染症予防にかかる資器材の備蓄状況について
6	令和2年3月6日	「帰国者・接触者電話相談センター」の設置について
7	令和2年3月13日	本区における感染症予防にかかる資器材の備蓄状況について
8	令和2年3月20日	「帰国者・接触者電話相談センター」の設置について
9	令和2年2月28日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休業について
10	令和2年3月2日	新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う確定申告期限の延長に係る令和2年度住民税の申告期限の対応について

区の対策本部の設置を受け、区議会では、令和2年1月31日から延べ86回の区議会災害等対策会議を開催し、区長等へ要望(要望22回、緊急要望15回)を提出しました。

●目黒区新型コロナウイルス感染症対策本部

新型コロナウイルス感染症対策本部会議 主な議題一覧

回	開催日	主な議題
1	令和2年3月4日	新型コロナウイルス感染症拡大にともなう臨時営業の自粛要請について
8	令和2年3月23日	今後の新型コロナウイルス感染症への対応について
13	令和2年4月1日	新型コロナ対策コールセンターの設置及び職員の応援について
20	令和2年4月14日	今後の応援業務体制の確保等について
24	令和2年4月28日	目黒区新型コロナウイルス感染症PCR検査センターの開設について
31	令和2年5月26日	目黒区ひとり親家庭等生活応援給付金(区単独事業)の支給について
34	令和2年6月4日	目黒区商店街連合会と連携した「めぐろ地元のお店応援券(仮称)」の発行について
46	令和2年8月11日	公園等トイレの手洗場蛇口の一部自動水栓化について
58	令和2年10月19日	令和3年「新年のつどい」の中止について
61	令和2年11月5日	目黒区発熱外来の開設等について
68	令和2年12月24日	年末年始における生活困窮者等に関する対応について
76	令和3年1月27日	新型コロナウイルスワクチン接種に係る集団接種会場について
85	令和3年3月25日	コロナ禍における女性の負担軽減について
91	令和3年4月15日	区内飲食店のコロナ対策の支援について
102	令和3年6月16日	新型コロナウイルス感染症緊急事態解除宣言に伴う区の基本的な考え方について
117	令和3年9月29日	新型コロナウイルス感染症緊急事態解除宣言に伴う区の対応について
128	令和3年11月30日	今後の新型コロナウイルス感染症対策における区の対応について
136	令和4年1月13日	令和4年春 目黒川桜開花期間中における取組案について
140	令和4年2月1日	目黒区業務継続計画(新型インフルエンザ等編)の発動について
154	令和4年4月21日	業務継続計画に基づく保健所業務の人員確保について
160	令和4年6月2日	目黒区業務継続計画(新型インフルエンザ等編)の解除について
175	令和4年9月28日	目黒区立住区会議室利用制限の一部緩和について
194	令和5年3月2日	職員のマスク着用と職場における感染防止対策について
206	令和5年5月18日	新型コロナワクチン集団接種会場について

※新型コロナウイルス感染症対策本部は令和6年3月31日まで随時開催する予定

● 感染症予防資器材の備蓄状況

区の業務を継続するために必要な職員用の感染症予防資器材を危機管理室で備蓄していました。  
このほかに各所属で業務内容に応じた備蓄がありました。

(令和2年1月31日時点)

品名		数量	
手指消毒用アルコール	1ℓ 卓上ポンプ式	1,200	本
マスク	サージカルマスク (紙マスク1箱50枚入り)	2,000	箱
	防塵マスク(N95)	1,000	枚
防塵メガネ (ゴーグル型)		800	個
インフル対策用防護服		150	着
非接触型体温計		60	本
ディスポ手袋		3,000	枚



## (2) 予算編成の対応

### 令和2～5年度 コロナ対策予算額

総計 562億円余(一般財源43億円余)
項目数合計 438項目 うち区独自の事業 300項目

### 令和2年度 コロナ対策予算額

合計 329億円余(一般財源17億円余)
項目数合計 155項目 うち区独自の事業 112項目

### 《主なもの》(予備費の増額を含む)

5月補正(1号)	<p>予算額 300億円(一般財源9億円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別定額給付金</li> <li>・マスクの購入(避難所等備蓄、妊婦等配布)</li> <li>・医療機関へ防護服等提供</li> <li>・小中学校オンライン学習環境整備</li> </ul>
6月補正(2号)	<p>予算額 22億円(一般財源18億円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・めぐろ地元のお店応援券(プレミアム率50%)</li> <li>・PCR検査体制の拡充</li> <li>・ひとり親家庭等生活応援給付金(第1回目)</li> <li>・GIGAスクール構想情報端末整備</li> </ul>
9月補正(3号)	<p>予算額 12億円(一般財源6億円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域避難所資機材整備(全地域避難所に屋内型避難所用テントを配備)</li> <li>・ひとり親家庭等生活応援給付金(第2回目)</li> <li>・保育施設感染拡大防止対策支援</li> <li>・就学援助世帯へのオンライン学習通信費の支援</li> </ul>
3月補正(4号)	<p>予算額 5億円(一般財源3億円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PCR検査センター運営委託</li> <li>・感染症患者移送費、入院医療費</li> <li>・コロナ対応業務人材派遣(保健所)</li> <li>・資源回収排出量増に伴う経費(びん・缶等)</li> </ul>
	<p>コロナ対策事業の歳出減額補正</p> <p style="text-align: right;">△9億円(一般財源△7億円)</p>
	<p>コロナ対策事業の歳入のみ増額補正</p> <p style="text-align: center;">(一般財源△12億円)</p>

令和3年度 コロナ対策予算額

合計 132億円余(一般財源16億円余)

項目数合計 142項目 うち区独自の事業 82項目

《主なもの》

当初	<p>予算額 30億円(一般財源17億円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナワクチン接種</li> <li>・PCR検査センター運営委託</li> <li>・商店街の魅力の再構築</li> <li>・区政再構築に向けた業務改善支援委託</li> </ul>
予備費活用	<p>予備費活用額 4.3億円(一般財源4.2億円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で子どもを産み育てている家庭への支援</li> <li>・移動困難な高齢者等のワクチン接種会場移動支援</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対応等融資支援金</li> </ul>
6月補正(1号)	<p>予算額 15億円(一般財源5億円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャッシュレス決済によるポイント還元</li> <li>・プレミアム付き商品券事業(プレミアム率30%)</li> <li>・子育て世帯生活支援特別給付金</li> <li>・住区センター会議室におけるWi-Fiの導入</li> </ul> <p>コロナ対策事業に充当する歳入のみ増額補正 (一般財源△10億円)</p>
6月補正(2号)	<p>予算額 2.4億円(一般財源0円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活困窮者自立支援金</li> </ul>
9月補正(3号)	<p>予算額 29億円(一般財源7億円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナワクチン接種</li> <li>・保育施設感染拡大防止対策支援</li> <li>・区職員テレワーク環境拡充</li> </ul> <p>コロナ対策事業に充当する歳入のみ増額補正 (一般財源△1.3億円)</p>
12月補正(4号)	<p>予算額 57.2億円(一般財源0円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金</li> <li>・子育て世帯への臨時特別給付</li> </ul>
3月補正(5号)	<p>予算額 1.3億円(一般財源0.2億円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・処遇改善臨時特例事業</li> <li>・コロナ対策消耗品等の購入</li> </ul> <p>コロナ対策事業の歳出減額補正 △7.1億円(一般財源△1.9億円)</p> <p>コロナ対策事業の歳入のみ増額補正 (一般財源△3.9億円)</p>

令和4年度 コロナ対策予算額

合計 80億円余(一般財源4億円余)

項目数合計 91項目 うち区独自の事業 67項目

《主なもの》

当初	<p>予算額 37億円(一般財源13億円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナワクチン接種</li> <li>・感染症対策業務委託</li> <li>・インキュベーションオフィス利用促進事業</li> <li>・区立保育園への保育業務支援システム導入</li> </ul>
予備費活用	<p>予算額 0.1億円(一般財源0.1億円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベビーシッター利用支援事業(一時預かり利用支援)</li> </ul>
6月補正(1号)	<p>予算額 6億円(一般財源0.5億円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナワクチン接種</li> <li>・飲食店感染防止対策助成金</li> <li>・子育て世帯への家事支援用品の購入支援事業</li> </ul> <p>コロナ対策事業の歳入のみ増額補正 (一般財源△2百万円)</p>
9月補正(2号)	<p>予算額 35億円(一般財源0.9億円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナワクチン接種</li> <li>・感染症入院医療費</li> <li>・保育施設感染拡大防止対策支援</li> </ul> <p>コロナ対策事業の歳入のみ増額補正 (一般財源△2.8億円)</p>
9月補正(3号)	該当なし
12月補正(4号)	該当なし
3月補正(5号)	<p>予算額 3.7億円(一般財源0.8億円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナワクチン接種</li> <li>・感染症入院医療費の増</li> <li>・区立特別養護老人ホームの減収影響対策</li> </ul> <p>コロナ対策事業の歳出減額補正 △0.8億円(一般財源△0.7億円)</p> <p>コロナ対策事業の歳入のみ増額補正 (一般財源△7.2億円)</p>

令和5年度 コロナ対策予算額

合計 21億円余(一般財源6億円余)

項目数合計 50項目 うち区独自の事業 39項目

《主なもの》

当初	コロナ対策 21億円(一般財源6億円) ・コロナワクチン接種 ・中小企業者向け専門家活用支援事業 ・デジタル機器導入による民生・児童委員活動支援 ・パパママの育児教室実施回数拡充
----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------

### (3) 組織体制と職員の働き方の変化

---

#### ● 臨時組織の設置

【概要】 感染症対策の業務を適時適切に対応するため、臨時組織を立ち上げて対応

【設置した組織】

##### ○ 特別定額給付金担当課

緊急経済対策事業を実施するため課長1名及び職員5名を兼務で配置  
令和2年5月18日～7月31日全庁応援による兼務で対応

##### ○ 感染症対策担当課

新型コロナウイルス感染症への対応を強化するため設置(令和2年5月8日)  
課長1名及び職員8名を専任で配置のほか保健師を中心に全庁応援、東京都からの職員派遣で対応(令和3年4月、4年4月に一部改組)

##### ○ 新型コロナ予防接種担当課

ワクチン接種事業を円滑に実施するために設置(令和2年12月7日)  
課長1名及び職員1名を専任で配置、その他、職員の兼務配置で対応

#### ● 目黒区業務継続計画(新型インフルエンザ等編)の発動

【概要】 限られた人員で必要な業務を継続しながらワクチン接種や感染症対策の臨時組織への応援に即応できるように全庁的な非常時体制を整備するため発動

【期間】 令和4年2月1日～6月2日

#### ● 保健所の執務スペースの確保

【概要】 感染症対策やワクチン接種業務に携わる保健所職員等の増加に伴い、執務スペースを確保する必要があることから、総合庁舎大会議室(約389㎡)を緊急避難的措置として一時的に保健所の執務室に活用

【期間】 令和3年3月～5年12月



### ●在宅勤務

【概要】 緊急事態宣言発令時の特例的な対応として、職員の自宅で実施可能な業務や職務に必要な知識習得を目的とした研修などを実施(緊急事態宣言解除後も対象者を整理した上で実施)

【期間】 ①令和2年4月9日～5月25日

②令和3年1月8日～3月21日

③令和3年4月1日～4年3月31日

【実績】 最大で1日に904人が利用

【対象】 妊娠中又は基礎疾患等を有する職員、所属長が自宅での勤務を命じた職員など

### ●テレワークの実施

【概要】 区が貸与したパソコンを利用し職員の自宅で業務を実施

【期間】 令和3年3月22日～現在も試行実施中

【実績】 令和2年度に利用した職員 18人

令和3年度に利用した職員 56人

令和4年度に利用した職員 262人

【対象】 端末貸与が認められた者。ただし、妊娠中又は基礎疾患等を有する職員には優先的に貸与

### ●リモートワークなどの環境整備

【概要】 ウェブ会議用機器、子育て相談・面談用端末、テレワーク用端末などの機器調達並びにウェブ会議環境改善のためのインターネット回線の敷設

【実績】 タブレット端末50台(ウェブ会議、HER-SYS、子育て相談・面談用)

ノートパソコン360台(テレワーク用)

会議室(29か所)にインターネット回線敷設

### 3 感染拡大防止等の取り組み

#### (1) 感染拡大の防止・医療提供体制の確保等

##### 【相談体制】

##### ● 新型コロナ受診相談窓口(帰国者・接触者電話相談センター)

##### 【概要】

- ◆令和2年2月1日発出の国の通知に基づき、武漢からの帰国者等、新型コロナウイルス感染症を疑われる方の受診先の調整対応を行うため、東京都と連携して、年中無休・24時間体制で相談を受け付ける電話相談窓口を同月7日に迅速に設置
- ◆日中は各保健所に対応し、夜間は、令和2年5月17日までは各保健所保健師等が当番制で都庁に参集して実施

【設置期間】 令和2年2月7日～5年5月7日

【相談件数】

年度	件数
令和元年度	104
令和2年度	11,232
令和3年度	2,877
令和4年度	210
令和5年度	2

##### ● 目黒区新型コロナコールセンター

【概要】 濃厚接触者に関する電話相談や、新型コロナウイルス感染症に関する一般的な電話相談を年中無休で受け付けるためのコールセンターを設置

【設置期間】 令和4年2月1日～5年6月30日

【相談件数】

年度	件数
令和3年度	3,827
令和4年度	15,710
令和5年度	367

※応答率は98%超

## 【検査体制等】

医師が必要と認めた場合や、クラスター発生の予防対策として、PCR検査等を実施しました。当初は地方衛生研究所である東京都健康安全研究センターのみで実施していましたが、医師会や区内医療機関の協力のもと、早期に適切に受検できるよう、検査体制の拡充を図りました。

### ●目黒区新型コロナウイルス感染症PCR検査センター(医師会へ委託)

【設置期間】 令和2年4月～4年2月

### ●目黒区新型コロナウイルス感染症PCR検査センター(病院へ委託)

【設置期間】 令和2年8月～5年1月

※令和2年8月:計2病院、9月:計3病院、10月:計4病院

### ●診療・検査医療機関での検査(医師会へ委託)

【概要】令和4年1月に、医師会に委託し、区内の診療・検査医療機関(27か所)での検査体制を構築

### ●検査件数

年度	PCR検査センター (医師会)(※)	PCR検査センター (病院)(※)	診療検査医療機関で の検査	東京都健康安全研 究センター等での 検査
R元年度	—	—	—	74
R2年度	1,386	2,020	—	1,838
R3年度	1,088	1,877	64	2,910
R4年度	—	171	190	745
計	2,474	4,068	254	5,567

(※)保健所が予約調整を実施

### ●発熱外来の設置

【概要】多くの医療機関が休診する年末年始やゴールデンウィーク等も、発熱患者に対して適切な診療・検査体制を整備するため、医師会に委託して発熱外来を設置

【設置期間】 令和2年11月から随時設置

## 【疫学調査・クラスター対応】

感染症法に基づく発生届により、全ての陽性者を把握しました。国立感染症研究所が定める「新型コロナウイルス感染症患者に対する積極的疫学調査実施要領」に基づき、保健師が中心となって積極的疫学調査を実施し、感染者の調査や、濃厚接触者の特定等を行いました。なお、保健所業務ひっ迫に伴い、令和3年夏季以降は、国の通知に基づき、調査対象の重点化を図り、学校や保育園等の一部の施設においては担当所管課等が調査協力を行いました。

また、施設でクラスターの報告が発生した際には、担当所管課との連携の下、調査・指導により感染拡大防止を図りました。状況に応じて、東京都実地疫学調査チーム(TEIT)や東京都感染対策支援チームを活用しました。

## 【療養施設の調整】

新型コロナウイルス感染症については、原則として入院措置を行うこととされていたことから、当初は全ての感染者に入院勧告を行った上、入院調整をおこなってきました。令和2年3月に、国から、地域の実情に応じた最適な対策を柔軟に講じるための考え方が示されたこと等を背景として、同年4月には、東京都が軽症者や無症状者等を対象とした宿泊療養施設を設置しました。目黒区では、状況に応じて、医療機関等への入院や入所の調整を行いました。

### ●入院調整件数

年度	入院者数
令和元年度	21
令和2年度	1,080
令和3年度	1,011
令和4年度	1,113
令和5年度	16

### ●移送

【概要】患者等搬送事業者(民間救急搬送事業者)への委託により移送を実施

【移送件数】

年度	件数
令和元年度	12
令和2年度	595
令和3年度	1,243
令和4年度	1,319
令和5年度	30

## 【健康観察】

当初は、濃厚接触者に対して、日々の健康状態を確認するために健康観察を実施しました。その後、感染者数の増加に伴い、重症化リスクのない軽症者や無症状者等の自宅療養が開始されたことから、自宅療養者への健康観察を実施しました。My HER-SYS(本人等がスマートフォンやパソコン等で自身や家族の健康状態を入力できる健康管理機能)の運用開始や、令和3年12月に医療機関による健康観察事業が導入されたことに伴い、重症化が懸念される方を対象とした健康観察にシフトしました。

また、目黒区では、令和2年4月から、自宅療養者の健康観察に用いるためのパルスオキシメーター貸出しの整備を進め、同年7月からは貸出しを開始し、感染者急増の中にあっても、全自宅療養者に対して貸出しを行う体制を整えました。

さらに、発生届が提出された陽性者への連絡に、SMS(ショートメッセージ)を活用した一括送信を行うことで、健康観察業務の効率化を図りました。

### ●パルスオキシメーターの貸出し

【貸出し期間】 令和2年7月～5年5月7日

【貸出し件数】

年度	件数
令和2年度	437
令和3年度	4,938
令和4年度	2,473
令和5年度	122



大会議室を利用した執務室



## 【自宅療養者支援】

医師会・薬剤師会等の協力を得て、自宅での療養環境を整備するとともに、目黒区独自の食料品提供を行うなど、自宅療養者の支援を行いました。

### ● 往診、オンライン診療等

【概要】 自宅療養者で往診やオンライン診療等が必要と判断した場合、区から依頼して医師会会員による往診や、薬剤師会会員による訪問配薬など、自宅での治療や安定した療養を行う環境を整備

### ● 応急食料品の提供

【概要】 東京都の配食サービスに加え、目黒区独自に食料品を提供

【期間】 令和3年7月～5年5月7日

【対象】 東京都の配食サービスが届くまでに食料が不足するかたや、サービス対象外の入院・宿泊先調整中のかた等

【内容】 レトルト食品、栄養機能食品、スポーツドリンクなど

### ● 自宅療養証明書の発行

【概要】 自宅療養者からの申請に基づき、自宅療養証明書を発行

【期間】 令和2年5月15日～継続中

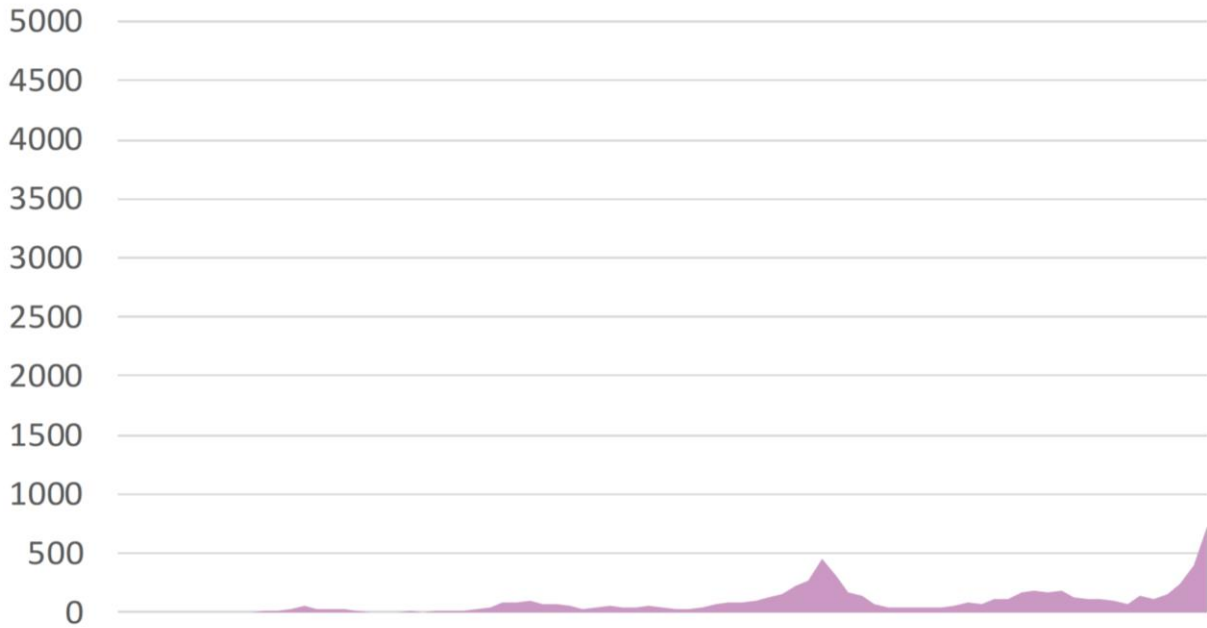
【発行件数】

年度	件数
令和2年度	354件
令和3年度	5,879件
令和4年度	8,580件
令和5年度	252件

※ 令和5年度は12月末分まで

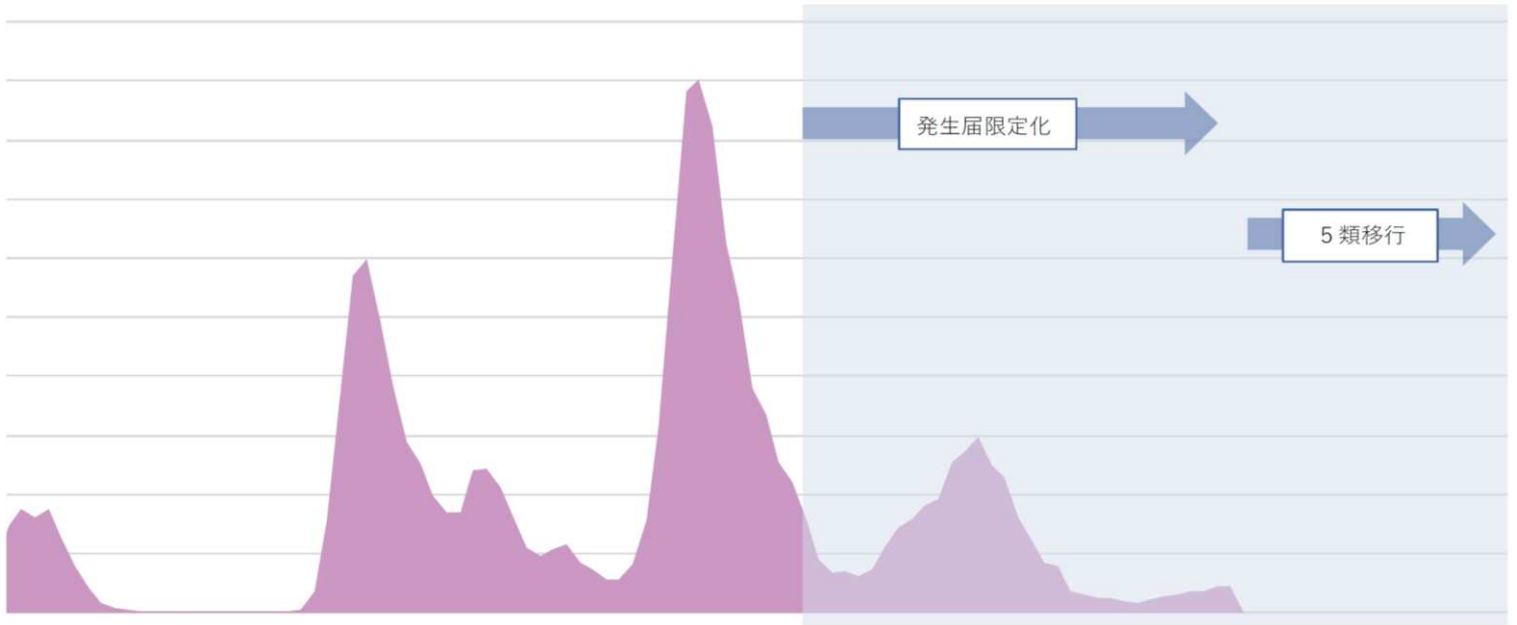
# コロナ対応タイムライン

感染状況推移（週次）



令和元年度	令和2年度												令和3年度						
令和2年(2020年)													令和3年(2021年)						
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	

ウイルスの特性		従来株(ウイルス変異前)												アルファ株								
感染症類型		2/1～ 指定感染症(二類感染症相当)												2/13～ 新型インフルエンザ等感染症								
国の動向		入院勧告等の開始 (緊急事態宣言 4/7～5/25) (COCOA運用開始)												(緊急事態宣言 1/8～3/21) (緊急事態宣言 4/25～6/20) (緊急事態宣言 7/1～)								
ワクチン		先行接種4月開始、一般接種																				
療養期間		2回の陰性確認				5/29～ 14日間、6/12～ 10日間																
濃厚接触者健康観察期間		14日間																				
感染症法に基づく感染症対策の主な業務	相談		2/7～ 帰国者・接触者電話相談センター(新型コロナウイルス相談窓口)																			
	PCR検査	医師会	PCR検査センター																			
		区内4病院													PCR検査センター(8月～順次開始)							
		区内診療所																				
	発生届	HER-SYS													運用開始							
	療養調整	入院・入所調整	入院調整本部運用(エクセルファイル活用)												MIST運用開始							
		移送	民間救急搬送事業者による移送																			
		宿泊療養施設	運用開始												ペット同伴者用宿泊施設開設							
	自宅療養者等への支援	健康観察	濃厚接触者への対応開始	自宅療養者への対応開始												MY HER-SYSを併用して活用						
			東京都自宅療養者フォローアップセンター																			
		往診	医療強化支援事業(都)																			
		ファーストコール	全員架電												SMS送							
		パルスオキシメーター	区による貸出開始																			
		食料品													東京都自宅療養者フォローアップセンター							
	自宅療養証明書	食料品	東京都自宅療養者フォローアップセンター																			
自宅療養証明書		窓口・郵送での申請受付																				
疫学調査																						
広報・啓発	公式ウェブサイト・めぐろ区報																					
	Twitter活用													LINE活用								
電子化、ICT活用																						



令和4年度												令和5年度													
令和4年(2022年)												令和5年(2023年)													
8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
デルタ株				オミクロン株(BA.1・BA.2)								オミクロン株(BA.5)													
(二類感染症相当)												5/8～五類感染症													
緊急事態宣言 (12～9/30) 東京2020大会		オミクロン水際対策										9/26～発生届限定化(高齢者等4類型)					5/8～五類・定点把握へ移行								
接種5月開始												9/7～7日間													
				1/14～10日間、2/2～7日間				7/22～5日間																	
												2/1～新型コロナコールセンター													
												※1月から休止し、区内診療所に対応													
												※1月から順次終了													
												医師会委託により実施													
																	医療機関支援のため継続								
入院待機・酸素ステーション開設				高齢者等医療支援施設開設								高齢者等医療支援施設のみ継続													
による健康観察(LINE活用)																									
												医療機関による健康観察													
医師会往診(区)																									
信(個別送信)		SMS送信(一斉送信サービス) ※SMS使用時もハイリスク者には全員架電																							
によるパルスオキシメーター貸与事業																									
による応急食料品の提供																									
による食料品配送事業																									
												LoGoフォームによる申請受付													
学校・保育園等の施設について各所管課で対応																									
												LoGoフォーム導入(自宅療養証明書申請、疫学調査、療養者向け情報提供を順次展開)					自宅療養証明書申請のみ継続								
												RPA導入(発生届処理)													

## (2) 新型コロナワクチン接種

新型コロナワクチン接種は感染対策の決め手として全国的に実施してきた事業であり、目黒区では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止及び重症化予防のため、区民へ迅速かつ円滑な接種を実施できるよう、体制整備を図ってきました。

### ●コールセンター・ヘルプデスク設置

【概要】 区民等の問い合わせ対応や、窓口対応等のため設置

【設置期間】コールセンター：令和3年2月15日～5年12月28日

ヘルプデスク：令和3年3月1日から

### ●接種回

接種回	(国) 接種開始日	(区) 接種開始日
初回接種(1・2回目接種)	令和3年 2月17日	医療従事者向け 令和3年 4月19日 高齢者向け 令和3年 5月 6日
第一期追加接種(3回目接種)	令和3年12月 1日	令和3年12月 1日
第二期追加接種(4回目接種)	令和4年 5月25日	令和4年 5月25日
令和4年秋開始接種(5回目接種)	令和4年 9月20日	令和4年 9月26日
令和5年春開始接種(6回目接種)	令和5年 5月 8日	令和5年 5月 8日

### ●接種券

【概要】

◆国の方針のもと、年齢ごとや所定の接種間隔を踏まえながら接種券を発行

◆接種回数が明確に伝わるよう、接種回数によって接種券・封筒の色分けを実施

◆初回接種(1・2回目接種)の接種券発行では、令和3年5月に国が設置した「自衛隊大規模接種センター」で18歳以上の接種予約開始に伴い、ワクチン接種を希望する18歳から64歳のかたに対して、目黒区総合庁舎の窓口で接種券の臨時発行を実施

### ●接種体制

【接種開始当初～令和5年5月7日】 ワクチンの特性を踏まえた上で、貴重なワクチンをできる限り無駄にせず、適切に管理し、かつ短期間で少しでも多くのかたに接種するため、集団接種会場の運営を中心に実施

【令和5年5月8日～9月19日】 国の方針として、集団接種から個別接種へ体制の移行が示されたため、目黒区では個別接種会場(区内医療機関)を中心とする体制とし、集団接種会場は期間限定で運営

## ● 集団接種会場

【運営期間】 令和3年4月19日～5年6月17日

【会場数】 令和3年度は9会場、4年度は11会場、5年度は5会場

(各会場の運営状況は別表のとおり。)

【予約方法】 コールセンターでの受付のほか、LINE受付を導入。初回接種(1・2回目接種)の予約では、国から供給されるワクチン量に限りがあったため、年齢区分により、高齢のかたから受付を実施

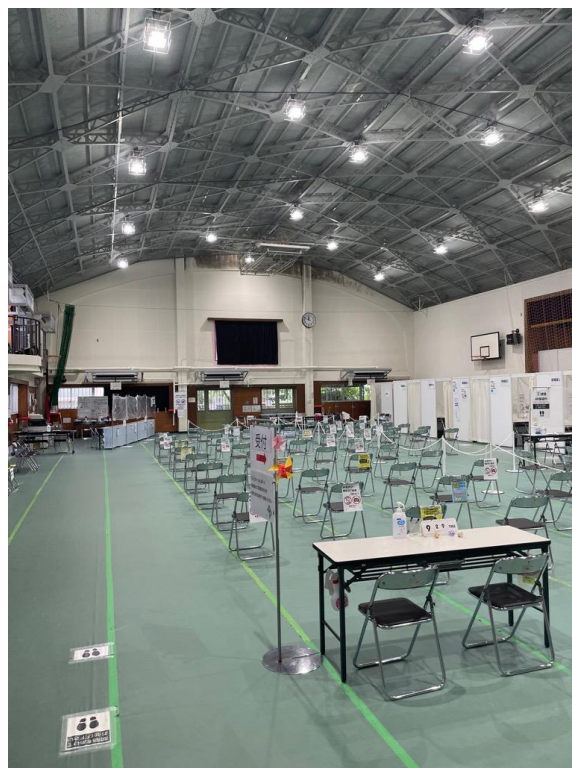
## ● 集団接種会場における対応

### ◆ ワクチンロス防止バンク

初回接種(1・2回目接種)では、希少なワクチンを廃棄することのないよう、接種会場で残余ワクチンが生じた場合には、希望するかたに対して接種を行う取組(ワクチンロス防止バンク)を実施  
(登録受付期間:令和3年7月24日～11月15日)

### ◆ 世田谷区民への予約枠開放

第一期追加接種(3回目接種)では、予約枠に余裕が生じていたことから、地域全体の接種促進を図ることを目的に、世田谷区民への接種も実施。会場はめぐろ学校サポートセンター・防災センター3階・イオンスタイル碑文谷の3会場で、令和4年2月24日から3月31日まで実施



接種会場(めぐろ学校サポートセンター)



## 別表 集団接種会場の運営状況

接種会場	北部地区サービス事務所	目黒区総合庁舎	めぐろ学校サポートセンター	防災センター1階	防災センター3階	中央体育館	碑住区センター	八雲体育館	イオンスタイル碑文谷	緑が丘文化会館本館	めぐろ区民キャンパス	東京工業大学(蔵前会館)
R3年度	4		4月19日									
	5	5月12日		5月6日				5月12日	5月10日			
	6											
	7											
	8				8月13日	8月13日						
	9	9月16日			9月15日	9月15日						
	10			10月31日				10月31日				
	11											
	12											
	1			1月18日	1月17日	1月26日						
	2	2月2日						2月2日		2月2日		
	3						3月9日	3月6日				
R4年度	4	4月30日				4月30日	4月30日					
	5											
	6	6月16日				6月24日	6月16日			6月29日		6月28日
	7					7月11日			7月28日			7月14日
	8											
	9					9月29日				9月27日	9月28日	
	10											
	11											
	12									12月27日		
	1											
	2	2月3日					2月10日					
	3		3月30日		3月31日							3月31日
R5年度	4		4月29日									
	5		5月8日		5月10日~27日	5月27日						5月12日
	6		6月17日									6月17日

※集団接種会場は令和5年6月17日をもって運営を終了

接種会場（目黒区総合庁舎）



●個別接種会場(区内医療機関)

【概要】令和3年6月から個別接種を開始。ワクチンの供給量に限りがある中、初回接種(1・2回目接種)では約50の医療機関で実施。また、個別接種会場を中心とした令和5年春開始接種では約100の医療機関に拡大して接種を実施

●高齢者施設等への巡回接種

【概要】初回接種(1・2回目接種)から令和5年春開始接種まで、施設の実情に応じて、早期の接種完了を目指して実施(各接種の開始時期は下表のとおり)。令和5年春開始接種で巡回接種を実施した施設数は高齢者施設が49施設、障害者施設が13施設

接種回	開始時期
初回接種(1・2回目接種)	令和3年 5月
第一期追加接種(3回目接種)	令和3年12月
第二期追加接種(4回目接種)	令和4年 6月
令和4年秋開始接種(5回目接種)	令和4年10月
令和5年春開始接種(6回目接種)	令和5年 5月

●訪問接種

【概要】寝たきり等の理由で、接種を希望する意思があるにもかかわらず、接種が受けられないかたを対象に、医師等が希望者宅を訪問して接種を実施

【受付期間】令和3年10月22日～11月30日

令和4年5月13日～6月25日、11月4日～5年2月28日

●接種率

令和5年春開始接種における65歳以上の接種率は49.0%(令和5年9月17日時点)。区内に住民票のある65歳以上の区民のおおむね2人に1人が接種している状況

	12歳以上	5歳～11歳	生後6か月～4歳
6回目	11.0%	—	—
5回目	20.4%	—	—
4回目	43.6%	2.5%	—
3回目	72.2%	9.3%	3.3%
2回目	85.6%	17.3%	3.8%
1回目	86.3%	18.4%	3.9%

※接種率はワクチン接種記録システムのデータをもとに、小数点第2位を四捨五入

※接種率は令和5年9月19日時点

### (3) その他の対応

---

#### 【関係機関との情報共有】

##### ●目黒区新型コロナウイルス感染症連絡会

【概要】医療提供体制や発生状況等の情報共有を目的とした会議体を設置

【参加機関】医師会、区内病院、目黒消防署及び保健所など

【開催状況】開催回数:全13回（令和2年3月26日～5年9月27日）

##### ●目黒区新型コロナウイルス感染症情報交換会

【概要】実務者間で情報共有を図るための会議体を設置

【参加機関】医師会、区内病院、目黒消防署及び保健所などの実務担当者等

【開催状況】開催回数:全4回（令和5年6月2日～9月8日）

※令和5年11月29日以降は、目黒区感染症対策情報交換会に名称を変更して継続

#### 【ICTの活用】

発生届受理後の入力作業や、健康観察等にICTを積極的に活用し、迅速かつ効率的な業務の実施に努めました。

##### ●発生届受理後の入力作業のRPA化

【概要】1件ごとに手作業で行っていた新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム(HER-SYS)の入力作業を自動化

【開始時期】令和4年8月

##### ●SMS利用によるファーストコールの一括送信

【概要】発生届が提出された陽性者への連絡に、SMS(ショートメッセージ)を活用した一括送信サービスを利用

【実施期間】令和3年12月～5年5月

##### ●LoGoフォームの活用

【概要】感染者への情報提供や、自宅療養証明書の申請受付等に活用。令和4年2月からは、疫学調査の電子カルテ化等にも活用

## 4 くらしを守る取り組み

### (1) 区民生活への対応

#### ● 区民への給付金一覧

給付事業名	区独自	主な対象者	期間(令和)	支給額	支給実績(単位:千円)
特別定額給付金		目黒区の住民基本台帳に記録されている者	2年5月～9月	1人当たり 10万円	158,593件 28,181,300千円
令和3年度住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金		令和3年度住民税非課税世帯、家計急変世帯	4年1月～12月	1世帯当たり 10万円	24,019件 2,401,900千円
令和4年度住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金		令和4年度に新たに住民税非課税となった世帯、家計急変世帯	4年7月～12月	1世帯当たり 10万円	5,498件 549,800千円
電力・ガス食料品価格高騰緊急支援給付金		令和4年度住民税非課税世帯、家計急変世帯	4年11月～5年1月	1世帯当たり 5万円	23,419件 1,170,950千円
住民税均等割世帯のみ課税世帯臨時特別給付金	○	令和4年度住民税均等割のみ課税世帯	4年12月～5年2月	1世帯当たり 5万円	3,078件 153,900千円

※「区独自」欄の○印は目黒区独自事業

#### ● 国民健康保険料などの減免

【概要】 減免基準に新型コロナウイルス感染症の影響による収入減少を新たに設け、国民健康保険料などの減免措置を実施(国民健康保険と介護保険は目黒区、後期高齢者医療保険は東京都後期高齢者医療広域連合で審査・決定、国民年金は目黒区で受付、審査・決定は日本年金機構)

【期間】 令和2年2月～5年3月

【実績】 国民健康保険料 670,664,540 円  
 介護保険料 19,621,632 円  
 後期高齢者医療保険料 9,538,200 円  
 国民年金(申請件数) 1,154 件

#### ● 国民健康保険傷病手当金などの支給

【概要】 国民健康保険等では行っていなかった傷病手当金制度を新たに創設し、被保険者が療養のために労務に服することができなかつた場合に傷病手当金を支給(後期高齢者医療は東京都後期高齢者医療広域連合で支給)

【期間】 令和2年1月1日～5年5月7日

【実績】 国民健康保険 13,273,217 円  
 後期高齢者医療(目黒区分) 403,988 円

### ●住民税の申告期限の延長

【概要】 新型コロナウイルス感染症の影響等により申告期限内に申告することが困難な方への対応として、令和3年度及び4年度住民税の申告期限を延長

【期間】 各年度3月15日までを4月15日までに延長

### ●住民税・軽自動車税の徴収猶予

【概要】 新型コロナウイルス感染症への対策関連法案の成立により、税の徴収猶予特例を実施

【対象】 令和2年2月1日～3年2月1日に納期限が到来するもの

### ●証明書等の発行手数料の免除

【概要】 新型コロナウイルス感染症の影響により、臨時特別給付金、貸付や給付等を受ける際に必要となる証明書の発行手数料を免除

【期間】 令和2年4月15日～継続中

【対象】 住民票の写し、印鑑登録証明書、特別区民税・都民税証明書など

### ●回覧チラシ等の中止

【概要】 町会・自治会に依頼しているチラシの回覧、町会・自治会掲示板へのポスター掲示の依頼を中止

【期間】 回覧チラシ 令和2年4月3日～4年6月30日

ポスター掲示依頼 令和2年4月3日～6月30日



## (2) 事業者への支援

### ● 事業者や商店街への助成金・給付金一覧

給付事業名	区独自	主な対象者	期間(令和)	支給額	支給実績(単位:千円)
新型コロナウイルス対策融資支援金	○	国や都のコロナ対策融資を受けた事業者	2年5月～3年3月 3年11月～4年3月 4年7月～5年3月	利子相当分の一部	R2 669件 49,090千円 R3 229件 20,590千円 R4 227件 30,170千円
雇用安定化助成事業	○	雇用調整助成金を受けようとする区内中小企業(社会保険労務士の費用を助成)	2年6月～3年3月	上限5万円(助成率8/10)	80件 3,858千円
中小企業者向け専門家活用支援事業	○	事業再興に向けた実施計画の策定などに当たり専門家から支援を受けた事業者など	3年7月～4年1月 4年4月～継続中	上限10万円(助成率8/10)	R3 41件 3,725千円 R4 40件 3,385千円
飲食店感染防止対策助成事業	○	換気設備設置工事などに取り組む飲食店	2年8月～3年2月 3年4月～4年2月 4年7月～5年2月	上限50万円(助成率8/10 ほか)	R2 44件 4,713千円 R3 41件 5,941千円 R4 1件 19千円
店舗賃料減額助成	○	店舗の賃料を減額したテナントオーナー	2年8月～10月	上限5万円/月 3～4月の2か月分	3件 131千円
飲食店業態転換支援事業	○	新たにテイクアウトなどを始める飲食店(都の助成金の対象外となる経費)	3年1月～2月 3年4月～4年3月	上限10万円	R2 16件 1,600千円 R3 13件 1,124千円
商店街地域力向上事業(感染症対策事業)		感染拡大防止対策活動を行う商店街	3年4月～継続中	区 上限20万円 都 上限30万円	R3 10商店街 2,679千円 R4 8商店街 2,078千円

※「区独自」欄の○印は目黒区独自事業

### ● めぐるどくとく商品券の発行

【概要】 プレミアム付き商品券「めぐるどくとく商品券」発行

【期間】 令和3年8月～4年3月

【執行額】 211,954千円



### ● キャッシュレス決済ポイント還元事業

【概要】 キャッシュレス決済によるポイント還元事業を実施

【期間】 第1回 令和3年10月～3年11月

第2回 令和3年12月～4年1月

【執行額】 198,442千円



### ●プレミアム付き商品券事業補助

【概要】 目黒区商店街連合会が販売するプレミアム付き商品券「めぐろ地元のお店応援券」と「めぐろ生活応援券」事業への補助

【期間】 地元のお店応援券 令和2年6月～3年3月

めぐろ生活応援券 令和4年7月～5年3月

【補助額】 地元のお店応援券 528,550千円

めぐろ生活応援券 402,855千円



### ●生鮮食品販売事業感染対策補助

【概要】 生鮮食品販売事業に対して感染症対策の経費を補助

【期間】 令和3年7月～4年3月

【執行額】 米穀供給事業 154千円

銘柄食肉供給事業 316千円

### ●新型コロナウイルス対策緊急融資

【概要】 売上高が減少した区内中小企業事業者を対象に、5年間無利子融資(利子補給利率1.8%)をあっせん

【期間】 ①令和2年3月～3年3月

②令和3年4月～4年3月

【件数】 ①694件

②365件

【その他】 働き方改革に取り組む中小企業向け融資、事業再構築資金融資

### ●宅配等調査研究事業

【概要】 飲食物の宅配やテイクアウトの需要を取込むための目黒区商店街連合会が行う調査研究を支援

【期間】 令和2年5月～3年3月

【執行額】 455千円

### ●ナカメテイクアウトプロジェクトへの支援

【概要】 中目黒周辺地区のまちづくり活動団体（一社）ナカメエリアマネジメントが行うテイクアウト情報の発信やキッチンカーによる飲食販売を支援

【期間】 第1弾 テイクアウト情報発信 令和2年4月～継続中

第2弾 キッチンカー 令和2年10月19日～11月8日

第3弾 キッチンカー 令和3年6月28日～9月30日

【実績】 キッチンカーの販売食数 約7,300食

総売上額 約6,900千円



### ●商店街街路灯電気料金などの補助

【概要】 商店会員からの会費徴収が困難となったことから、街路灯電気料金等補助の上乗せ及びLEDランプの交換費補助を実施

【実績】 街路灯電気料金 令和2年度 6,880千円

令和3年度 6,889千円

令和4年度 6,833千円

LEDランプの交換費 令和3年度 10商店街 5,723千円

令和4年度 5商店街 3,758千円

### ●中小企業の経営に関する相談

【概要】 中小企業診断士による経営相談を実施

【事業】 新型コロナウイルスの影響を受けた飲食店に対する専門家派遣

国や都が実施する中小企業向け給付金等の申請に係る相談

商店街の魅力構築支援の中小企業診断士派遣 など

### (3) 区有施設(公の施設)の対応

目黒区は、政府が令和2年2月25日に公表した「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」を受け、区有施設(公の施設)の取り扱いについて、施設の個別の状況を踏まえて利用中止・自粛要請などの利用制限を判断しました。

また、利用再開に向けて様々な感染拡大防止措置を講じました。

#### ● 主な区有施設(公の施設)の利用制限

施設名	最も強い利用制限の内容	実施期間(令和)
総合庁舎(会議室、和室休憩室ほか)	利用中止	2年4月～6月
男女平等・共同参画センター	休館	2年4月2日～6月15日
住区会議室	利用中止	2年4月2日～6月7日
中小企業センター(ホール)	利用中止	2年4月2日～6月18日ほか
パーシモンホール(大ホール、小ホール)	利用中止	2年4月8日～6月18日
中目黒GTプラザホール	利用中止	2年3月7日～6月18日
目黒区美術館	休館	2年4月2日～6月1日ほか
体育館	利用中止	2年3月1日～6月14日ほか
高齢者センター・老人いきいの家(24か所)	利用中止	2年4月2日～6月14日ほか
心身障害者センター (会議室・視聴覚室・言語訓練室)	利用中止	2年4月2日～4月30日
子育てふれあいひろば10か所	休館	2年4月4日～6月18日
中町二丁目自転車集積所	休止	2年4月～5月
目黒区エコプラザ	利用中止	3年4月25日～6月20日
公衆喫煙所(屋外型) (都立大学、自由が丘喫煙所)	利用中止	2年4月15日～5月25日
公衆喫煙所(屋外型) (中目黒GT、アリーナ喫煙所)	利用中止	3年4月16日～5月25日
目黒区立八ヶ岳林間学園	休園	2年3月9日～6月18日ほか
社会教育館・緑が丘文化会館・青少年プラザ	休館	2年4月9日～6月15日ほか
目黒区立図書館	休館	2年4月8日～5月31日

保育園と学童保育クラブの利用制限は(5)子ども・子育て世帯への対応に、区立小・中学校の利用制限は(6)区立小・中学校の対応に記載しました。

### ●公園の利用制限

【概要】公園の閉鎖 2公園  
公園内施設の閉鎖 9施設  
解放時間の短縮した公園など 12か所  
公園遊具の使用中止

### ●公衆便所の閉鎖

【概要】公衆便所11か所を閉鎖  
【期間】令和2年4月13日～5月25日

### ●新型コロナウイルス感染症を理由とするキャンセル時の使用料還付

【概要】感染症を理由(感染・不安等)として施設利用に係るキャンセルの申請を受けた際の使用料を還付  
【期間】令和2年2月20日～5年5月8日

### ●電子書籍貸出サービス(めぐろ電子図書館)の開始

【概要】図書館の来館利用が困難な区民に対し、電子書籍の貸出(めぐろ電子図書館)や図書の郵送貸出・返却など非来館型の図書館サービスを提供  
【期間】めぐろ電子図書館 令和3年7月～継続中  
郵送サービス 令和2年5月～継続中  
【実績】めぐろ電子図書館貸出コンテンツ数 21,326点  
郵送サービス 256件(ともに令和5年3月31日時点)

●手洗い場蛇口の自動水栓化

【概要】区有施設(公の施設)の手洗い場の蛇口の一部を非接触式の自動水栓に交換

設置施設	設置個所数	事業費
田道ふれあい館	24箇所	4,268千円
区民センター児童館	9箇所	937千円
特別養護老人ホーム	2施設	6,380千円
障害福祉施設	6施設	4,572千円
ひまわりプラザ	1施設	543千円
児童館・学童保育クラブ	30施設	3,060千円
児童福祉施設	1施設	389千円
保育所	14園	6,721千円
公園・児童遊園・公衆便所	22施設	5,701千円
清掃事務所	1施設	807千円
小・中学校・幼稚園・こども園	31校 3園	22,078千円
興津自然学園・ハヶ岳林間学園	2園	957千円
		合計 56,413千円

●特別養護老人ホームの簡易陰圧装置の設置

【概要】ウイルスが室外に漏れにくい気圧を低くした空間(陰圧室)を作る簡易陰圧装置を区立特別養護老人ホームに設置

【実績】3施設 7台 14,960千円

●特別養護老人ホーム職員用トイレ照明制御器の設置

【概要】区立特別養護老人ホーム職員用トイレの照明を非接触型化(人感センサー化)に交換

【実績】2施設 787千円

●教室などの換気対策

【概要】換気を徹底するため、虫の飛来などにより窓が開放できない学校施設に網戸を設置

【実績】7校1園 1,184千円



● 芸術文化活動への支援

【概要】 活動の場がなくなったアーティストに芸術文化活動の継続を支援するとともに、新しい生活様式の中で区民に芸術文化活動に触れる機会を提供することを目的に実施。めぐろパーシモン大ホールで演奏した動画をYouTubeで配信、ケーブルテレビの番組で放送

【実績】 出演者数23組86名 約330万円

めぐろアーティスト  
支援事業

目黒区では新型コロナウイルスの影響により活動の場がなくなったアーティストを対象に発表の場を提供し、芸術文化活動の継続を支援する「Culture Delivery Project」(#カルデリ)を実施します。



● 中止した主なイベント

【概要】 令和2年2月20日の目黒区危機管理対策本部で、不特定多数(参加者が特定できないもの)の参加が見込まれる目黒区主催のイベント等は、当面のあいだ原則中止、延期とすることを決定

開催を予定していた時期	中止したイベント
令和2年1月～令和2年3月	中央体育館リニューアル記念「スポーツフェスティバル」 目黒区体育祭
令和2年4月～令和3年3月	広島市小・中学生派遣 新年のつどい 平和祈念のつどい 第45回区展 第44回目黒区民まつり 東日本大震災復興支援コンサート めぐろスポーツまつり 目黒シティラン ティーンズフェスタinめぐろ2020 駅前放置自転車クリーンキャンペーン エコまつり・めぐろ 目黒区教育委員会児童生徒表彰式 自然宿泊体験教室(小4～中1) 目黒区立中学校連合体育大会 目黒区立小・中学校連合音楽会 特別支援学級連合運動会(小・中)
令和3年4月～令和4年3月	広島市小・中学生派遣 新年のつどい 平和祈念のつどい 第45回目黒区民まつり めぐろスポーツまつり 駅前放置自転車クリーンキャンペーン 目黒区教育委員会児童生徒表彰式 目黒区立中学校連合体育大会 目黒区立小・中学校連合音楽会 特別支援学級連合運動会(小・中)

講演会・講習会などを含めると令和2～3年度で200件以上のイベントが中止となりました。



## (4) 福祉分野の対応

### ● 福祉関連給付金一覧

給付事業名	区独自	主な対象者	期間(令和)	支給額	支給実績(単位:千円)
子どもの定期予防接種費用助成	○	特別区の区域外で定期予防接種又はその予診を受け、それに要する費用を全額自己負担している者	2年4月～5月	接種費用の実費額(上限あり)	36件 1,251千円
高齢者インフルエンザ定期予防接種費用助成		高齢者インフルエンザ定期予防接種対象者で65歳以上の者等	2年10月～3年1月 4年10月～5年1月	1人当たり2,500円	72,603人 181,507千円
ワクチン接種移動支援助成事業	○	要介護認定者、身体障害者手帳(1級～3級)又は愛の手帳所持者	3年6月～5年3月	ワクチン接種時にタクシー等を利用した場合片道1千円	8,506件 21,752千円
新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金		社会福祉協議会が実施する緊急小口資金等の特例貸付を終了した世帯や、再貸付について不承認とされた世帯	3年7月～5年3月	<支給額(月額)> 単身世帯:6万円 2人世帯:8万円 3人以上世帯:10万円	R3 933件 169,420千円 R4 418件 100,660千円
住居確保給付金(支給対象拡大及び特例措置)		休業等により収入が減少し住居を喪失するおそれのある方など	2年4月～5年3月	<支給上限額(月額)> 単身世帯:53,700円 2人世帯:64,000円 など	R2 2,663件 358,725千円 R3 607件 145,573千円 R4 226件 35,468千円

※「区独自」欄の○印は目黒区独自事業

### ● 高齢者等へのPCR検査助成

【期間】 令和2年11月20日～3年2月26日

令和3年4月5日～4年2月28日

【実績】 令和2年度 受検件数 342件 7,552,386円

令和3年度 受検件数 114件 2,517,462円

【対象】 65歳以上の高齢者、64歳以下の基礎疾患のあるかた

### ● 福祉タクシー利用券などの追加助成

【概要】 対象者1人1万円の福祉タクシー券追加交付又は自動車燃料費助成の追加助成

【期間】 令和2年7月～3年3月

【実績】 3,576件 35,760千円

### ● 目黒区応急福祉資金貸付の特例

【概要】 応急に必要とする資金の調達が困難な区民に資金を貸し付ける貸付理由に、コロナウイルス感染症起因による貸付要件を特例で追加

【期間】 令和2年4月1日～5年4月30日

【実績】 65件 12,480千円

●災害時要配慮者へのマスク配布

【概要】 災害時要配慮者に感染予防のためのマスク一人50枚を配布

【期間】 令和2年6月～3年3月

【対象】 避難行動要支援者名簿登載者 約 15,000 人

【実績】 マスク購入費・郵送料など 約 38,400 千円

●介護・障害福祉サービス事業者特別給付金

【概要】 福祉サービス事業者に対してマスクなど衛生用品を購入する費用の一部として特別給付金を交付

【期間】 令和2年5月中旬～6月下旬

【実績】 348 事業所 51,100,000 円

(1事業所につき 10 万円～60 万円)

●福祉施設への抗原検査キットの配布

【概要】 福祉施設に対し、区内短期入所サービスなどの利用者用に抗原検査キットを配布

【期間】 令和4年3月、11月

【実績】 延べ24施設 3,635,280 円

●福祉施設の PCR 検査費用助成

【概要】 施設等の利用者及び職員が区の委託した検査会社の PCR 検査を受けた費用を助成

【期間】 令和2年11月～継続中

【実績】 令和2年度 180 件 2,998,540 円

令和3年度 1,009 件 14,844,780 円

令和4年度 543 件 6,937,700 円

●ワクチン接種に係るデイサービス事業所などへの移動等支援助成

【概要】 利用者のワクチン接種時に接種会場への移動や介助を実施したデイサービスなどの通所系介護サービス事業者に1回 1 万円を助成

【期間】 令和3年5月6日～5年3月31日

【実績】 延べ 164 人 1,640,000 円

●入所等福祉施設職員インフルエンザ予防接種経費の助成

【概要】 福祉施設の職員に対し、季節性インフルエンザに係る予防接種の費用を助成

【期間】 令和2年10月～3年3月

【実績】 865人 2,076,360円  
(職員1人につき2,500円を上限)

●ゲートキーパー養成講座

【概要】 コロナ禍での自殺を防止するために必要な存在となる「ゲートキーパー」を養成するため、区ウェブサイトでゲートキーパー養成講座の動画を配信

【期間】 令和2年12月25日～4年3月31日

【実績】 視聴回数 約4,000回

●フレイル予防の啓発

【概要】 外出自粛などにより高齢者の心身機能の低下(フレイル)を予防するための各種啓発事業を実施

【啓発事業】 めぐる区報(令和2年5月5日号、8月15日号)、オンライン講座、DVD配布など



## (5) 子ども・子育て世帯への対応

児童館と学童保育クラブは、全国の小中高休校要請に伴い利用自粛をお願いしました。小中学校再開に合わせて「児童館等新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」を作成して事業を実施してきました。

保育園は、保育現場の人員体制や感染拡大予防のため休園対応を行なわざるを得ない事もありましたが、児童福祉施設としての役割を踏まえ、できる限り開所しました。

### ●子育て世帯への給付金一覧

給付事業名	区独自	主な対象者	期間(令和)	支給額	支給実績(単位:千円)
子育て世帯への臨時特別給付金		児童手当相当の子育て世帯	2年5月～3年3月	児童1人につき1万円	17,732人 177,320千円
ひとり親家庭等生活応援給付金	○	児童扶養手当受給世帯	2年6月～3年3月	児童1人につき5万円 (年2回実施)	延2,129人 106,450千円
ひとり親世帯等臨時特別給付金		児童扶養手当受給世帯等	2年7月～3年3月	基本給付:1世帯につき5万円 (児童2人目以降1人につき3万円) 追加給付:1世帯につき5万円 再支給:基本給付と同じ	延3,355人 153,950千円
低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金		児童扶養手当相当のひとり親世帯 又は非課税の子育て世帯	①3年4月～4年3月 ②4年6月～5年3月	児童1人につき5万円	①3,737人 186,847千円 ②3,660人 183,000千円
子育て世帯への臨時特別給付金		児童手当相当の子育て世帯	3年11月～4年5月	児童1人につき10万円	19,754人 1,975,400千円
ひとり親家庭等生活応援給付金	○	児童扶養手当受給世帯等	4年6月～5年3月	児童1人につき5万円	1,206人 60,300千円

※「区独自」欄の○印は目黒区独自事業

### ●コロナ禍で子どもを産み育てている家庭への支援

【概要】 令和2年4月28日～12月31日に出生した児童1人当たり10万円分の目黒区商店街商品券を交付

【期間】 令和3年5月～4年3月

【実績】 1,492人 1億4,920万円相当を交付

### ●子育て世帯への家事支援用品購入支援

【概要】 平成31年4月2日～令和4年4月1日に出生した児童を養育している世帯に時短家電・スマート家電等の家事支援用品(対象児童1人につき5万円相当のギフトカード)を交付

【期間】 令和4年9月～5年3月まで

【実績】 2,245件 9,217万9千円

【対象者】 目黒区に住民登録があって対象の児童が保育サービスを利用していない者

### ● 育児パッケージ(こども商品券)の配布

【概要】 妊婦面接の際に配布する育児用品カタログギフト(1万円相当)に追加して育児パッケージ(こども商品券1万円分)を配布

【期間】 令和2年6月1日～3年3月31日

【実績】 3,725セット

### ● 妊婦へのマスク配布

【概要】 感染防止用のマスク不足が深刻となり、国の妊婦への布製マスク配布も遅れる状況の中で、目黒区独自でマスクを配布

【期間】 令和2年5月22日～6月23日

【実績】 2,000箱(1箱50枚入り)

### ● 保育園休園等の期間における日割り計算による保育料減額

【概要】 令和2年の登園自粛等及び令和3～4年度の臨時休園及び児童が陽性または濃厚接触者となった場合、日割り計算による保育料の減額を実施

【期間】 令和2年3月1日～5年3月31日

【実績】 令和元年度(令和2年3月分) 20,499,090円

令和2年度 248,684,640円

令和3年度 26,492,190円

令和4年度 16,588,460円

【対象】 認可保育所 地域型保育所等を利用する児童の世帯

### ● 学童保育クラブ保育料の免除・日割徴収について

【概要】 学童保育クラブの利用自粛等をお願いしていた期間の月額制の保育料について、期間中の保育料を免除・利用実績による日割徴収を実施

【期間】 令和2年3月分～5月分

【実績】 令和元年度 940千円

令和2年度 16,630千円

【対象】 学童保育クラブを利用する児童の世帯

### ●めぐろみんなで楽しいごはんプロジェクト

【概要】 都の「新型コロナウイルス感染症及び学校等の臨時休業に伴う「子供の食の確保」緊急対応策を行う事業への補助」を一部活用し、廉価で栄養のバランスの取れた弁当を提供する協力団体へ経費を支援

【期間】 令和2年4月～3年3月

【実績】 協力団体4団体 補助額1,519千円 食事提供2,678食

### ●児童手当等の郵送手続きに係る郵便料金の補助

【概要】 児童手当等の申請について、郵送での届出を勧奨し、郵便料金受取人払封筒の配布等、区民からの申請等に係る郵便料金を支出

【期間】 令和2年6月～継続中

【実績】 令和2年度 2,402千円

令和3年度 2,481千円

令和4年度 551千円

### ●保育施設等の臨時休園等に対する支援事業

【概要】 臨時休園等により利用者負担額を減額又は返金をした保育施設等に、その費用の一部を補助

【期間】 令和2年2月25日～5年3月31日

【実績】 令和2年度 49,315千円

令和3年度 7,140千円

令和4年度 3,568千円

【対象】 認証保育所 家庭福祉員 定期利用保育事業

### ●保育所等における感染拡大防止対策事業

【概要】 保育施設が購入した備品や施設の消毒に係る経費及び保育所等の職員の感染症対策の経費を保育所等の事業者に対して補助

【期間】 令和2年1月16日～5年3月31日

【実績】 令和元年度 6,061千円

令和2年度 104,626千円

令和3年度 66,162千円

令和4年度 65,425千円

【対象】 私立認可保育所、公設民営保育所、地域型保育所など



### ● 私立幼稚園における感染症対策事業費補助

【概要】 保健衛生用品(子供用マスク、消毒液等)や備品の購入及び感染症対策のために必要な経費を私立幼稚園の事業者に対して補助

【期間】 令和2年4月～5年3月

【実績】 令和2年度 12,381千円

令和3年度 2,433千円

令和4年度 1,868千円

### ● 保育所等PCR検査費補助事業

【概要】 児童又は職員の感染が判明した際に、保健所による濃厚接触者の特定及び検査が即時に実施されない場合、保健所に先行して実施するPCR検査に係る経費を補助

【期間】 令和3年7月26日～10月31日

【実績】 1,123千円

【対象】 私立認可保育所 地域型保育所 認証保育所

### ● めぐるホッ！とナビを活用したオンライン事業

【概要】 妊婦や子育て世帯への面談、乳幼児健診、来所相談、出張相談を関係所管でめぐるホッ！とナビを活用してオンライン相談・面談、情報発信、オンライン講座を実施

【実績】 オンライン相談・面談 100件





## (6) 区立小・中学校の対応

国は全国の学校に対して令和2年3月2日からの臨時休業を要請しました。それを受けて目黒区では、子どもたちに臨時休業中の過ごし方などを各学校で指導した後、3月3日から一斉臨時休校を行いました。また、臨時休業期間中の5月11日～5月31日は、各校の生徒・児童を3つのグループに分け、週に1、2日程度の登校日を設定しました。

### ● 区立小・中学校在籍の児童・生徒世帯への給付金一覧

給付事業名	区独自	主な対象者	期間(令和)	支給額	支給実績(単位:千円)
昼食代相当額の支給	○	就学援助準要保護認定者 (就学援助)	2年4月～6月	1食当たり500円	788人 18,980千円
通信費相当額の支給	○	家庭でのオンライン学習のために通信費を負担する就学援助準要保護認定者 (就学援助)	3年1月～3月	1人当たり1万円	761人 7,610千円

※「区独自」欄の○印は目黒区独自事業

### ● 家計が急変した保護者への対策(就学援助)

【概要】 新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少し、就学困難となった家庭に対して、就学援助の認定要件を追加

【期間】 令和2年度～継続中

【実績】 1,711千円

### ● 家庭学習の支援

【概要】 区立小中学校、幼稚園及びこども園の臨時休業中に家庭における学習及び読書活動の支援として図書カードを配付

【期間】 令和2年6月

【実績】 25,980千円

【対象】 区立学校(園)に通う児童・生徒・園児の家庭

### ● 給食費の無償

【概要】 保護者の経済的負担の軽減策として、臨時休業明けから夏休みまでの給食費無償を実施

【期間】 令和2年6月19日から7月31日まで

【実績】 107,361千円

### ●家庭へのICT機器貸出

【概要】 希望する全ての区立小・中学校在籍の児童・生徒が自宅学習等にインターネットを活用できるように1世帯につき「タブレット型情報端末」(1台)及び「モバイルwifiルーター」(1台)を貸出

【期間】 令和2年5月～8月

【対象】 情報端末やインターネット環境がない家庭

【実績】 536世帯



### ●分散授業日の設定

【概要】 臨時休業期間終了後は、3日に1回又は2日に1回程度登校する分散授業を実施

【期間】 ①令和2年6月1日～6月8日(6日間)

3日に1回程度登校する「分散授業日」(学校給食提供なし)

②令和2年6月9日～6月12日(4日間)

2日に1回程度登校する「分散授業日」(学校給食提供なし)

③令和2年6月15日～6月18日(4日間)

毎日、「午前授業」(学校給食提供なし)

### ●不足した授業時数の確保

【概要】 令和2年度の臨時休業期間に不足した授業時数の確保のため、夏季休業期間短縮や土曜授業などを実施

【期間】 ①夏季休業期間 8月1日～8月24日に短縮

②10月1日(都民の日・区民の日)を休業日から授業日に変更

③振替休業日を設けない土曜授業の実施(年間12回程度)

④各校の実態に応じて40分授業を実施

### ●めぐろ学校サポートサイトの開設

【概要】 児童・生徒の学習を保障するため、学習教材や役立つコンテンツ、運動取組カード、家庭学習時間割表等を掲載した「めぐろ学校サポートサイト」を開設

【期間】 令和2年4月22日～継続中

## (7) その他(広報・寄付金・区議会の対応など)

### ●ふるさと納税

【概要】 ふるさと納税のポータルサイトにおいて、寄附メニューに「新型コロナウイルス等感染症対策を応援したい!」を追加

【期間】 令和2年5月～継続中

【実績】 令和2年度寄付 27,224,000円(393件)  
令和3年度寄付 50,557,521円(428件)  
令和4年度寄付 19,746,000円(167件)

### ●医療従事者支援「心にさくらプロジェクト」

【概要】 感染症対策の最前線に立つ医療従事者の皆さんに、地元の飲食店で作ったお弁当を無償で届けるという中目黒商店街連合会からの提案を受け、「心にさくらプロジェクト」をキャッチフレーズに、この取り組みを支援するため、クラウドファンディングを実施

【期間】 令和3年4月1日～5月31日

【実績】 寄付合計 3,526,000円(目標額5百万円:達成率70.5%)  
寄付人数 158人  
弁当配達数 7,410個(190個×39日)



### ●区民への広報・情報提供

【概要】 めぐる区報・ウェブサイト・SNSなどを活用した広報、報道機関へ情報提供

【実績】 区報臨時号 11回発行(令和2年度7回、3年度4回)

ウェブサイト 「新型コロナウイルス感染症への対応」ページ

YouTube 新型コロナウイルスワクチン接種の予約方法などの動画公開

SNSを活用した情報発信を展開

公営掲示板などへのポスター掲示 9回(令和2年度3回、3年度6回) など

### ●コールセンターの設置

【概要】 区民の不安を解消するとともに円滑な業務遂行を図るため、全庁的な協力体制で区職員による新型コロナ対策コールセンターを設置

【期間】 令和2年4月6日～5月29日まで

【従事職員】 応援職員を含む延べ320人に対応

【実績】 1日最大244件 期間中累計3,791件

### ●区議会議員に対する日額旅費の支給停止

【概要】 日額旅費の支給一時停止により生じる財源を、コロナ禍の区民生活に有効活用するよう区長へ補正予算(令和3年第1号)に対する要望書を提出

【期間】 令和3年6月～5年4月

【実績】 支給停止した額(会議開催回数から算出)

令和3年度 3,564千円

令和4年度 4,106千円

### ●寄付の受け入れ

新型コロナウイルス感染症対策に関連して、現金のほか、物品の寄付を多数いただきました。

寄付内容	寄贈者
500,000円	日本たばこ産業株式会社
100,000円	上二東町会婦人部
100,000円	中目黒をさらに良くする連絡会
416,800円	明治安田生命保険相互会社 品川支社
800,000円	明治安田生命保険相互会社 品川支社
100,000円	川崎憲次郎と愉快的仲間達
200,000円	株式会社青木工務店
100,000円	株式会社リフォネット
10,000円	@一般社団法人中目黒駅周辺地区エリアマネジメント
10,655円	@童謡の里めぐろ保存会
120,000円	@駒場かかしプロジェクト実行委員会
100,000円	株式会社リフォネット

## 5 対応の検証と今後の課題

### (1) 目黒区全般の対応

感染拡大が始まった令和2年に目黒区では目黒区基本構想をはじめ新たな長期計画の策定・改定作業を進めていました。目黒区基本構想の策定期間を延期したことから長期計画や補助計画について計画期間を延伸するなどの対応を行いました。また、計画策定・改定に係る会議をはじめ、各協議会、審議会等では、リモート会議や書面開催へ変更するとともに、パブリックコメントの募集なども説明用動画を作成するなど接触の機会を極力減らす工夫をしました。

予算編成については、国の緊急事態宣言等の断続的な発出に伴う経済活動の停滞や景気の減速懸念など、かつてない事態に直面する中、国や都の財源を活用しながら、「めぐろ・3S・アクション」と称し、感染拡大にしっかりと「備える」、区民の暮らしをしっかりと「支える」、新たな日常を着実に「進める」の3つの観点から、区民の生命・健康と暮らしを守るための予算措置を遅滞なく円滑に実施しました。

加えて、即時対応しなければならないものについては、予備費の活用により機動的に対応しました。

業務量が急増した部署への職員の応援や臨時組織の対応など全庁体制で取り組みました。また、職員の感染リスクの低減を目的に、時差出勤やテレワークなど多様な勤務体制を構築してきました。結果的にDX(デジタル技術を用いた業務改善)や「働き方改革」が推進されました。

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた区民に対する各種給付金や保険料の減免措置などの支援策について、法令などの情報収集に努めるとともに国や東京都の財源を適切に活用して、迅速に対応しました。

区内事業者に対して新型コロナウイルス対策に関連した様々な支援策を展開しました。また、窓口には融資あっせんなどの申請者が殺到したため、他部署からの職員の応援や中小企業診断士、金融機関OB職員等の増員により対応しました。

重症化リスクの高い区民への対応が求められる福祉分野では、通常業務に加えての注意喚起、給付金などの経済的支援、マスクの配布などの現物支給や外出を自粛する高齢者の機能低下に対する支援など、多岐にわたるコロナ関連の対策を実施しました。実施にあたっては、各課の役割を明確にすることと制度を簡略化するなどの工夫で対応しました。



区取り組みだけでなく、コロナ禍のさまざまな制限の中でもできることを、まちの方たちと一丸となって考え、公民連携による地元飲食店支援(ナカメテイクアウトプロジェクト)や医療従事者支援「心にさくらプロジェクト」等を成し遂げることができました。また、区民や団体、事業者の皆さんからは感染対策を目的として多くの物品や現金の寄付をいただきました。

駅前の公衆喫煙所を休止したことから、路上などでの喫煙やポイ捨てに対する苦情が多数寄せられました。また、喫煙所の休止に賛同する意見や「恒久的な廃止」の意見がある一方、喫煙者からは「喫煙所の再開」など様々な意見が寄せられました。

区立学校などでは「目黒区立学校・園新型コロナウイルス感染症対策マニュアル」に基づき、感染症対策を徹底して教育活動を実施するとともに、GIGAスクール構想を前倒して児童・生徒1人1台の学習用情報端末の整備を行うなど、子どもたちの学びを保障する環境整備を行いました。

令和2年4月19日に執行した目黒区長選挙は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言の発令後、全国で初めて告示(12日告示)された選挙ということで大きな注目を集めました。

区内外から「選挙を延期すべき」との意見も寄せられましたが、選挙を延期する「特例法」の制定はありませんでした。選挙管理委員会としては、投票は不要不急の用務にはあたらないということに理解を求めるとともに、投票所では可能な限りの感染対策を講じて執行しました。

街頭啓発の実施などは見送りましたが、投票率は前回比7.31ポイント増(33.33%)と大幅に上昇することとなりました。



## (2) 感染拡大防止等に向けた対応

---

令和2年1月に国内で初めて感染者が確認されて以降、保健所では、区民の生命・健康を守るため、医師会、薬剤師会、区内医療機関等の協力のもとで、感染拡大防止等に向けた対応を迅速に図ってきました。

### ● 感染拡大防止の防止・医療提供体制の確保等

令和2年2月には、東京都と連携して、24時間体制で相談を受け付ける「新型コロナウイルス受診相談窓口(帰国者・接触者電話相談センター)」を立ち上げるとともに、同年4月には、「目黒区新型コロナウイルス感染症PCR検査センター」を医師会に委託して立ち上げるなど、相談体制の迅速な構築や、検査体制の拡充を図りました。

疫学調査や、入院・入所調整、健康観察など多くの業務が発生し、感染者の増加に伴って業務量も増大しましたが、保健所保健師等の専門職等を中心として、全庁からの応援職員や、人材派遣等の外部人材の活用などにより適切に対応しました。国内でも大きな流行が繰り返され、保健所に求められる対応も日々変化していきましたが、国の通知や感染状況等に応じて、重症化リスクのある区民への疫学調査の重点化や、自宅療養者への支援等、その時々で必要な対応を行いました。

様々な業務に当たり、ICTを積極的に活用しました。1件ごとに手作業で行っていた新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理システム(HER-SYS)の入力作業の自動化や、発生届が提出された陽性者への連絡に、SMS(ショートメッセージ)の一括送信サービスを利用する等の効率化を図り、年間約7,000時間相当の業務削減に繋がりました。

一方、未知の感染症への対応を行っていく中で、国や東京都からの相次ぐ通知の発出や、保健所に求められる業務の範囲の増大、変異株の出現による感染者数の急増、患者を直接診療しない保健所による入院調整が継続される等、保健所業務がひっ迫し、業務執行に当たった課題も残りました。

次なる新興感染症に備えて、保健所の役割の整理が必要であるとともに、平時から、国や東京都等との協議を行うことや、医師会、薬剤師会、医療機関等との連携の強化、感染症対策に従事する保健師等の専門職の人材育成、庁内の役割分担の明確化、発生時の対応訓練、ICTの一層の活用促進などを計画的に進めていく必要があります。



## ● 新型コロナワクチン接種

新型コロナワクチン接種事業に関しては、実施に向けた調整事項は膨大かつ多岐にわたりました。国からの情報提供が十分ではない中で、様々な事態を想定して準備を進め、迅速かつ円滑な接種体制の構築を行いました。

医師会や薬剤師会の協力のもとで、令和3年4月19日からは医療従事者向けの集団接種を開始し、同年5月6日からは高齢者向けの接種を開始、高齢者向けの接種開始から1か月経過後の新聞社の調査によれば、区の接種率は全国の主だった区市74自治体の中で3位となり、23区トップレベルのスピードで接種を進めることができました。また、コールセンターでの受付のほか、LINEによる予約受付を導入し、円滑な接種に繋がりました。

感染拡大防止を図り、重症化を防ぐためには、予防接種施策の推進が重要です。次なる新興感染症に備え、医師会、薬剤師会等との一層の連携を図り、迅速な集団接種体制を確保することが課題です。また、集団接種会場で接種が受けられないかたへのきめ細かな対応の検討も必要です。



多くの区民のかたから、職員に感謝や応援の言葉をいただきました。ありがとうございました。

### (3) まとめ

---

未だ経験したことのない新型コロナウイルス感染症による健康危機は、保健行政のみならず区政運営そのものにも大きな影響がありました。

感染症対策、ワクチン接種、各種給付金の支給などに対応するため、補正予算を随時編成するとともに予備費を活用するなど、臨機応変に迅速な対応を行いました。一方で国や東京都との役割分担の不明確さや、ワクチン接種や各種給付事務において国の動向に左右される中で自治体ごとの対応が求められるなど、業務の円滑な執行には課題が残ったところです。今後とも全国的な対応が必要な危機に際して、国や東京都と市区町村の役割の明確化とともに、緊密な連携が求められるところです。

感染症が拡大し、人と人の接触が困難な状況で、区民や事業者の活動や行政の運営にも様々な制限が課せられ、社会経済活動が停滞しました。一方でこれを契機として、オンラインでの会議や交流、子どもへの教育端末の整備などデジタル対応が大きく進み、情報技術社会の進展に即した行政サービスの向上が図られた部分もありました。今後ともこの流れに沿って効率的かつ効果的なサービスを提供していく必要があります。

医療従事者の皆様をはじめ、エッセンシャルワーカーの方がたには区民の健康維持、社会経済活動を下支えするため、感染への危険がある中で多大なご尽力をいただきました。区に対しても区民や団体、企業の皆様から感染対策への寄付金やマスクをはじめ多くの物品の寄付が寄せられ、危機を乗り切るための原動力となりました。地域資源の結集や連携協力の重要性を改めて認識し、区民や団体をはじめ多様な主体と連携・協力する仕組みをさらに充実させることが必要です。

目黒区新型コロナウイルス感染症対策記録集

作成 令和6年2月

編集 目黒区危機管理部危機管理課





さくら咲き  
心地よいまち  
ずっとめぐろ